



- 東洋大学
Toyo University
- 東洋大学附属姫路中学校・高等学校
Toyo University Himeji Junior and Senior High School
- 東洋大学附属牛久中学校・高等学校
Toyo University Ushiku Junior and Senior High School
- 東洋大学京北中学高等学校
Toyo University Keihoku Junior and Senior High School
- 京北幼稚園
Keihoku Kindergarten
- 産官学連携推進センター
Industry-Government-Academia Partnership Center
- 内部監査室
Office for Internal Control
- 事務局
Administrative Office

- 学部
Faculties
- 大学院
Graduate Schools
- 学術研究推進センター
Center for Academic Research Promotion
- 研究所
Research Institutes
- 国際教育センター
Center for Global Education and Exchange
- 社会貢献センター
Center for Social Contribution
- 井上円了記念博物館
Inoue Enryō Memorial Museum
- 教職センター
Education Career Center
- 高等教育推進センター
Center for Promotion of Higher Education
- IR室
Office of Institutional Research
- 附属図書館
Library

東洋大学はいま 2019



学部 Faculties

文学部 Faculty of Letters

哲学科 / 東洋思想文化学科★ / 日本文学文化学科★ / 英米文学科 / 史学科 / 教育学科★ / 国際文化コミュニケーション学科

経済学部 Faculty of Economics

経済学科★ / 国際経済学科 / 総合政策学科

経営学部 Faculty of Business Administration

経営学科★ / マーケティング学科 / 会計ファイナンス学科

法学部 Faculty of Law

法律学科★ / 企業法学科

社会学部 Faculty of Sociology

社会学科★ / 社会文化システム学科 / 社会福祉学科★ / メディアコミュニケーション学科 / 社会心理学科

国際学部 Faculty of Global and Regional Studies

グローバル・イノベーション学科 / 国際地域学科★

国際観光学部 Faculty of International Tourism Management

国際観光学科

情報連携学部 Faculty of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学科

ライフデザイン学部 Faculty of Human Life Design

生活支援学科 / 健康スポーツ学科 / 人間環境デザイン学科

理工学部 Faculty of Science and Engineering

機械工学科 / 生体医工学科 / 電気電子情報工学科 / 応用化学科 / 都市環境デザイン学科 / 建築学科

総合情報学部 Faculty of Information Sciences and Arts

総合情報学科

生命科学部 Faculty of Life Sciences

生命科学科 / 応用生物科学科

食環境科学部 Faculty of Food and Nutritional Sciences

食環境科学科 / 健康栄養学科

大学院 Graduate Schools

文学研究科 Graduate School of Letters

哲学専攻 / インド哲学仏教学専攻 / 日本文学文化専攻 / 中国哲学専攻 / 英文学専攻 / 史学専攻 / 教育学専攻 / 国際文化コミュニケーション専攻

社会学研究科 Graduate School of Sociology

社会学専攻 / 社会心理学専攻 / 福祉社会システム専攻★■

法学研究科 Graduate School of Law

私法学専攻 / 公法学専攻

経営学研究科 Graduate School of Business Administration

経営学・マーケティング専攻 / ビジネス・会計ファイナンス専攻★

理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering

生体医工学専攻 / 応用化学専攻 / 機能システム専攻 / 電気電子情報専攻 / 都市環境デザイン専攻■ / 建築学専攻■ / 建築・都市デザイン専攻■

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学専攻 / 公民連携専攻★■

国際学研究科 Graduate School of Global and Regional Studies

国際地域学専攻

国際観光学研究科 Graduate School of International Tourism Management

国際観光学専攻

社会福祉学研究科 Graduate School of Social Welfare

社会福祉学専攻

生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences

生命科学専攻

ライフデザイン学研究科 Graduate School of Human Life Design

生活支援学専攻■ / 健康スポーツ学専攻■ / ヒューマンライフ学専攻■ / 人間環境デザイン専攻

学際・融合科学研究科 Graduate School of Interdisciplinary New Science

バイオ・ナノサイエンス融合専攻

総合情報学研究科 Graduate School of Information Sciences and Arts

総合情報学専攻

食環境科学研究科 Graduate School of Food and Nutritional Sciences

食環境科学専攻

情報連携学研究科 Graduate School of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学専攻

■…修士・博士前期課程のみ設置

■…博士後期課程のみ設置

印なし…博士前期・博士後期課程

研究所 Research Institutes

人間科学総合研究所 / 現代社会総合研究所 / 東洋学研究所 / アジア文化研究所 / 地域活性化研究所 / 工業技術研究所 / ライフイノベーション研究所 / バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター / アジアPPP研究所 / 井上円了研究センター / グローバル・イノベーション学研究センター / 情報連携学術実業連携機構

大学院・学部併設センター Research Institutes and Centers affiliated with Graduate Schools and Faculties

国際哲学研究センター / 21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター / 経営力創成研究センター / 生体医工学研究センター / PPP研究センター / 国際共生社会研究センター / 食環境科学研究センター / 福祉社会開発研究センター / 計算力学研究センター / 産学協同教育センター

★印は学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していること、大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程を示す

～井上円了没後 100 周年～

THE CENTENARY OF THE DEATH OF ENRYO INOUE

2019年6月発行 / 学校法人東洋大学 編集 / 総務部広報課



https://www.toyo.ac.jp/toyo2019/

東洋大学はいま2019



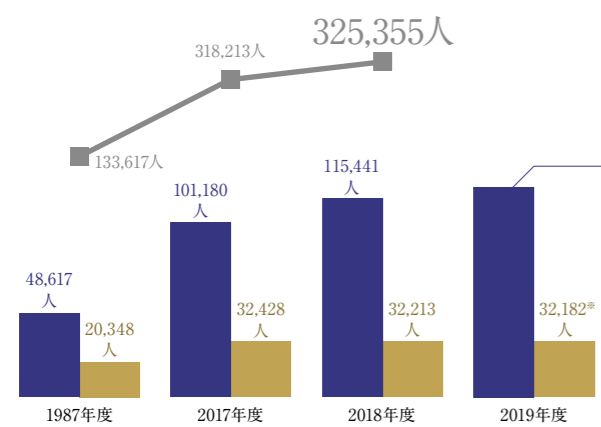
Toyo University by the 数字で見る 東洋大学

NUMBERS



Webでもご覧いただけます
You can also view this data on our website.

卒業生数・志願者数・学生数の推移 Number of Alumni, Applicants and Students



志願者数 (2019年度センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試／学部第1・2部合計)
Number of Applicants

122,010人
Students

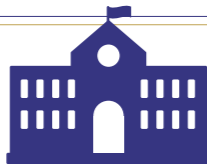
私立大学 全国2位

The 2nd largest private university in Japan

■卒業・修了生数(累計)
■志願者数(センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試／学部第1・2部)
■学生数(学部第1・2部、大学院、通信教育課程)

2019年度センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試志願者数は122,010人で、これは国内603校の私立大学で2番目の規模です(2019年度入試の結果はP.14に掲載)。また、これまでの卒業・修了生は32万人を超え、それぞれ社会の第一線で活躍しています。
※2019年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。

海外との協定数 (2019年3月31日現在) Overseas Agreements



大学間
37カ国 182協定
Countries Agreements

部局間等
33カ国 96協定
Countries Agreements

東洋大学は168大学、4コンソーシアム、6機関、3都市と大学間協定を結んでいます。
※詳しい情報はP.17に掲載

就職率 (2019年3月卒業生) Employment Rate



98.5%

学内企業セミナー参加社数 (2018年度) Number of Companies Participating in On-Campus Company Information Sessions

1,018社
Companies

朝日新聞出版「大学ランキング2020」では、就職率第15位(卒業生2,000人以上、2018年3月卒業生実績)。2019年3月卒業生(学部第1部)の就職率は98.5%と高い水準を維持しています。

学部学科数 (2019年度) Number of Faculties and Departments



13学部 46学科
13 Faculties and 46 Departments

新制大学に移行した1949年の文学部設置以来、東洋大学は総合大学として13学部46学科を擁するまでに発展し、全ての学部で4年間一貫の同キャンパス教育体制を実現。また、大学院は現在、15研究科36専攻から成り立っています。

海外留学・研修派遣者総数(4年間) (2015年4月1日～2019年3月31日実績) Total Number of Students Dispatched for Overseas Study and Training



7,624人
Students

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択。学生の海外経験を促す多彩なプログラムによりグローバルリーダーを育成しています。

外部評価 External Evaluation

11年連続
11 Years in a Row
AA

学校法人東洋大学は、2019年1月に株式会社日本格付研究所(JCR)より、11年連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)、21段階の上から3番目の格付を取得。格付の見直しは「安定的」とされました。格付事由は、「強い学生獲得力を維持していること」「良好な財務構成」などが挙げられています。

大学独自の奨学金支給総額 (2018年度) Total Amount of Our Proprietary Grant-type Scholarship Paid

9億5,876万円
958.76 Million Yen

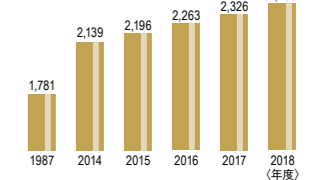
東洋大学奨学金および東洋大学独立自活支援奨学金での給付総額。

THE世界大学ランキング日本版2019 Times Higher Education Japan University Rankings 2019

教育充実度* 4位
国際性* 9位
Engagement Ranked 4th Environment Ranked 9th

「THE世界大学ランキング日本版2019」において、東洋大学は私立の首都圏大規模大学における教育満足度で4位(全体14位)、国際性で9位(全体47位)、総合ランキングで11位(全体73位)となりました。
※私立大学、首都圏大規模大学[大学定員数5,000人以上]

資産の推移 Asset Status



2018年度
2,406億円
240.6 Billion Yen

資産は継続的にゆるやかな増加傾向にあり、純資産構成比率は90%を超え、安定的に高い水準で推移しています。

第2部・イブニングコース入学定員 (2019年度) Evening Course (Night School) Admission Capacity

760人
Students

意欲ある学生が一人でも多く学べるように、学費を抑えた第2部・イブニングコースを6学部9学科に設置。夜間学部の定員は日本の大学で最大規模であり、全私立大学夜間部学生の約25%が東洋大学に通っています。

海外留学を支援する奨学金支給総額 (2018年度) Total Amount of Scholarship Paid for Study Abroad Support

2億6,511万1,698円
206,511,698 Yen

東洋大学海外留学促進奨学金として658人、東洋大学交換・認定・協定校語学留学奨学金として300人へ給付しました。

Introducing
Toyo University Founder

創
立
者
「井上円了」
とは

Enryo Inoue



哲学教育を礎とし 世界に通用する人材を育てる

Nurturing World-class Talent Based on Philosophy Education

東洋大学は1887(明治20)年、哲学者 井上円了が創立した「私立哲学館」により、その歴史が始まりました。時代が江戸から明治へと移り、近代化が進み始めた日本において、円了は「哲学は新しい時代を生きる日本人にとって思考の根本になる」と考え、「哲学すること」の重要性を示しました。それは、いわゆる哲学者を養成することではなく、哲学を学ぶことにより、人々が主体的に生きることの重要性を説くものでした。

Toyo University's history began in 1887, when philosopher Enryo Inoue founded a private school called the *Shiritsu Tetsugakukan*. Enryo Inoue believed that “for Japanese people living in the new Meiji era, philosophy will be the foundation of all thought.” Rather than focusing on training professional philosophers, he emphasized the importance of “practice of philosophy,” namely the value of ordinary people living upon their own thoughts and initiative through learning philosophy.



井上 円了(1858年～1919年)

1858(安政5)年、慈光寺(新潟県長岡市)の長男として生誕。10歳で明治維新を経験し、漢学・洋学を学ぶ。20歳で設立直後の東京大学第1期生として予備門へ入学、23歳で文学部哲学科ただ一人の新入生となる。「哲学」という西洋の古代から近代まで発達してきた学問の本質を学びながら研究を重ね、「諸学の基礎は哲学にあり」と確信。そして、幼少期より身近にあった「仏教」を見直し、東洋哲学を発見した。大学を首席で卒業した2年後の1887(明治20)年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。「哲学の研究・普及が文明を進展させるために不可欠」と考え、著作と学校教育・社会教育による哲学の普及に身を捧げ、「東洋の日本」から「世界の日本」を志し、海外を視察するなど、明治時代の日本で新しい教育の扉を開くことに尽力した。1919(大正8)年、中国大連での講演中に倒れ、61歳で逝去。

2019年は、東洋大学創業者・井上円了の没後100周年にあたり、記念シンポジウムや講演会等の開催を予定しています。詳細は特設Webサイトをご覧ください。

●井上円了没後100周年特設サイト <https://www.toyo.ac.jp/s/100anniv/>

旅する哲学者

生涯において「実際に見て、聞いて、学ぶ」ことを重視していた井上円了は、海外渡航が難しかった時代に3度の長期世界視察を敢行しました。世界で得た知見を大学教育の理念とし、さらに後の全国巡講により民衆が多様な価値観を学ぶ機会を設けました。この思想は21世紀の東洋大学においても「グローバル人材の育成」という基本方針に継承されています。

また、晩年の円了は「田学」と称し、日本全国を回る壮大な講演旅行「全国巡講」を実施。海外視察で学んだ「言論の自由」「人格の尊重」などの社会教育や生涯学習の広範な普及を目指しました。27年間にわたるこの旅は、現在の市町村の約60%に及んでいます。合計5,291回^{*}の講演活動を行った円了は、中央と地方の間で今以上に大きな格差のあった明治時代において、社会教育のパイオニアだったといえます。

*15冊の「南船北馬集」に記録が残されている1906(明治39)年から1918(大正7)年までの13年間の講演回数。

教育の門戸を広げる志

井上円了が私立哲学館を創立した際の趣意書には「余資なく優暇なき者に教育機会を場を開放する」とあり、哲学館の授業料を低く抑えることで一人でも多くの人に門戸を開こうとしたほか、講義をまとめたテキストを送り自宅で学習できる「館外員制度」(現代の通信教育にあたる制度)もいち早く取り入れました。教育の機会を万人に開放するというその大なる志は、現在の東洋大学における「第2部・イブニングコース」などへと受け継がれています。

哲学者にして妖怪博士

井上円了は、哲学者であると同時に「妖怪研究」の第一人者として知られています。その狙いは、大衆を根柢のない迷信から解放し、自ら考える姿勢を身に付ける『哲学の第一歩』を示すため、日本人の心を近代化しようという壮大な取り組みの一環でした。



沿革

- 1887年 | 井上円了が本郷区龍岡町の麟祥院内に私立哲学館(東洋大学の前身)を創立する
- 1897年 | 小石川区原町に新校舎落成(現・白山キャンパス)
- 1899年 | 「私立京北尋常中学校^{*}」を開設
*現・東洋大学京北中学高等学校
- 1905年 | 京北幼稚園を開設
- 1906年 | 「私立東洋大学」と改称
- 1916年 | 日本の私立大学で初めて女子の入学を許可
- 1920年 | 「私立」の冠称が廃止され、「東洋大学」へ改称
- 1949年 | 新制大学に移行、文学部を設置
- 1952年 | 大学院を設置
- 1961年 | 川越キャンパス(埼玉県)を開設
- 1963年 | 東洋大学附属姫路高等学校(兵庫県)を開設
- 1964年 | 東洋大学附属牛久高等学校(茨城県)を開設
- 1977年 | 朝霞キャンパス(埼玉県)を開設
- 1997年 | 板倉キャンパス(群馬県)を開設
- 2005年 | 朝霞キャンパス(文・経済・経営・法・社会学部)の1・2年次を白山キャンパスに統合し、4年間一貫教育開始
- 2006年 | 大手町サテライト(東京都)を開設
- 2011年 | 総合スポーツセンター(東京都)完成
学校法人京北学園と法人合併し、京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園を併設校とする
- 2012年 | 創立125周年を迎える
125周年記念館(8号館)にて記念式典を挙げる
- 2014年 | 東洋大学附属姫路中学校(兵庫県)開設
文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」採択
- 2015年 | 京北中学校・高等学校が東洋大学京北中学高等学校に校名変更し、男女共学の東洋大学附属校として東京都文京区白山に移転
東洋大学附属牛久中学校(茨城県)を開設
- 2017年 | 赤羽台キャンパス(東京都)を開設

理事長・学長 あいさつ

Message from Chairman & President



理事長・学長の特別対談
「変化する時代、生きる力」を育成が
Webでご覧いただけます
Please visit our website.

学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

Takashi Anzai

Chairman, Toyo University Incorporated Educational Institution

1941年生まれ。東北大学法学部卒業。日本銀行、(株)日本長期信用銀行(現・(株)新生銀行)頭取、(株)アイワイバンク銀行(現・(株)セブン銀行)社長などを経て、2009年12月学校法人東洋大学理事に就任し、2018年12月から現職。



令和という新しい時代が幕を開けました。

平成は冷戦が終結し、経済の自由化、グローバリゼーションの本格化と、世界が進む方向に展望を持ちやすい時代でした。しかし、数年前から格差拡大や自国優位主義、反グローバリゼーションなどの動きが起こり、先行きが見えにくくなっています。

そうした時代を生きるためには、変化に対応していかなければなりません。世界で起きていることを見据えると同時に、世界から見た日本を考え、視点を変えながら思考を深めていくのです。

この思考こそ、本学の創立者・井上円了先生が掲げた「哲学」です。時代の流れに沿うでも乗るでもなく、自分で考えて行動する。つまり、「生きる」とは「考える」ことだと言えます。若い学生にはこの「生きる力」を大学で身に付けてほしいと願っています。

キャンパスの整備に加え、学部やキャンパスを越えた知的交流や連携の推進、そして国内外の大学や研究機関、民間企業、地域社会との交流も積極的に図っていきます。

学校法人東洋大学が新しい時代にも必要とされる大学であり続けるために、実務を担う教職員と一丸となり邁進してまいります。

The Reiwa Era has just started.

Encompassing the end of the Cold War, the increasing liberalization of economies, and the start of full-fledged globalization, the Heisei Era (Jan. 8, 1989 to Apr. 30, 2019) gave us prospects of a brighter future for the world. In recent years, however, given increasing inequality, the dominance of the principle of putting one's own country first, and anti-globalization movements, it seems that the world has entered an age of uncertainty.

Surviving such an age requires you to respond flexibly to changes. You have to deepen your thinking, taking diverse perspectives while keeping your eye on what is occurring in the world and at the same time reflecting upon how Japan is seen from outside perspectives.

The word "thinking" I just used can be rephrased as "philosophy," which Dr. Enryo Inoue, the founder of Toyo University, pursued. You need to act based on your own thinking, rather than being passively affected by, or following, trends. This suggests that living is thinking. I hope that you as young students will acquire the ability to "live," in this sense, during your years at the University.

We will make efforts to improve our campuses, promote academic exchange and collaboration across faculties and campuses, and facilitate partnerships with universities and research institutes in Japan and abroad, as well as with private enterprises and local communities.

I am determined to unite with faculty and staff members working in the field to ensure that the Toyo University Incorporated Educational Institution continues to satisfy social needs in the new era also.

東洋大学 学長

竹村 牧男

Makio Takemura

President, Toyo University

1948年生まれ。東京大学文学部印度哲学科卒業。博士(文学)。専門分野は仏教学・宗教学。1975年に文化庁専門職員となり、以降、三重大学助教授、筑波大学教授を経て、2002年から東洋大学教授。文学部長などを歴任し、2009年9月から現職。

「諸学の基礎は哲学にあり」—これは2019年に没後100周年を迎えた創立者・井上円了先生の言葉であり、本学の建学の精神の筆頭に掲げられるものです。

急激に変化する現代社会では、解のない事態に対しどのような判断をするかが問われます。そのためには、常識や先入観にとらわれることなく、自らが学び得た知識や経験に基づき深く考える、つまり哲学する姿勢が求められます。建学の精神には、知性と徳性を兼ね備えるという「知徳兼全」、自学自修の精神とも相通する「独立自活」も掲げており、本学が創立時から継承する精神が、現代の高等教育において注目されています。

時代の変化に対応する取り組みも進めています。本学は2014年に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援に採択され、世界で活躍するグローバル人材の育成に全力を注いでいます。また、学生の成長を可視化し、教育の質保証につなげる評価システムの検討を重ねています。研究分野では、国連の定めるSDGs達成など地球レベルの課題解決に貢献し得る研究力の向上を図り、国際的評価を高めてまいります。

これから世界はますます変化していきます。本学は、建学の理念を具現化し、国際社会に貢献できる有為なグローバル人材の育成に努めてまいります。

"The Basis of All Learning Lies in Philosophy"—these are the words of Toyo University founder Dr. Enryo Inoue, and the first line of the Founding Spirit of Toyo University. The year 2019 marks the centenary of Dr. Inoue's death.

What is at stake in our rapidly changing contemporary society is the decisions you make to address issues that have no established solutions. For this purpose, you must "put philosophy into practice," that is, think deeply based on the knowledge and experience you have so far acquired for yourself, without being limited by conventional ideas and prejudices. The Founding Spirit also includes "Integrating Knowledge and Virtue," which emphasizes the importance of a combination of intelligence and a virtuous character, and "Independence and Self-Initiative," which is related to a positive attitude toward self-directed study. The spirit of Toyo University has been handed down since its founding and is now a focus of attention in contemporary higher education.

We are also striving to respond to the latest social changes. Since Toyo University was selected for the Top Global University Project promoted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in 2014, we have devoted all-out efforts to foster global human assets, that is, talented individuals who can play leading roles on the world stage. Moreover, we have been discussing the construction of a system for visualizing students' development and consequently assuring the quality of education. In the research field, we hope to secure greater international recognition for the University by enhancing our capabilities to conduct research that can help solve global challenges, including the achievement of the United Nations Sustainable Development Goals (SDGs).

Toyo University will strive to foster competent global human assets who can put the Founding Spirit into practice and contribute to global society.



新時代を担う「情報」「福祉」「スポーツ科学」の拠点に 赤羽台キャンパスの教育・研究環境を拡充

A Project in Progress to Establish a Hub for Information, Welfare, and Sports Science in the New Era
Education and Research Facilities at the Akabanedai Campus to Be Upgraded

2017年4月に開設した赤羽台キャンパス(東京都北区)では現在、情報連携学部・情報連携学研究所の学生が学んでいます。2021年に予定されている、ライフデザイン学部等(現・埼玉県 朝霞キャンパス)の移転、さらには構想中の2学部4学科の開設により、赤羽台キャンパスの教育・研究環境をさらに拡充。東京23区で高齢化率の最も高い北区と連携し、既設の情報連携学部等と協働して、地域社会の課題解決・発展に努めていきます。

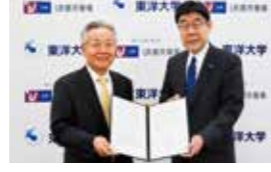
At the Akabanedai Campus (Kita City, Tokyo), opened in April 2017, undergraduate students in the Faculty of Information Networking for Innovation and Design and graduate students in the Graduate School of Information Networking for Innovation and Design are now pursuing their studies. Through the relocation of the Faculty and Graduate School of Human Life Design from the Asaka Campus in Saitama Prefecture, which is planned for 2021, as well as the projected establishment of two faculties and four departments, education and research facilities at the Akabanedai Campus will be further upgraded. Toyo University will promote partnerships between the existing Faculty and the Graduate School of Information Networking for Innovation and Design at the Akabanedai Campus as well as the municipality of Kita City, which has the highest percentage of residents aged 65 or older among the 23 special municipalities of Tokyo, to help the local communities solve problems and develop themselves.



画像提供：東洋大学赤羽台キャンパス設計管理共同企業体(隈研吾建築都市設計事務所・日本設計・戸田建設)

赤羽台キャンパスの変遷

- 2010年** 北区立赤羽台中学校の跡地取得
- 2011年4月** 京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校の仮校舎として活用
- 2011年6月** 「東京都北区と学校法人東洋大学との連携協力に関する包括協定」締結
- 2013年6月** 東京都北区、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)と「赤羽台地区における大学等の整備に係る協定」締結
- 2015年9月** 赤羽台キャンパス起工式
- 2017年3月** 「東京都北区と学校法人東洋大学との新たな連携施策に関する覚書」締結
赤羽台キャンパス竣工式/ウェルカムフェスタ開催
- 2017年4月** 情報連携学部・情報連携学研究所 開設
- 2019年2月** 「東京都北区と学校法人東洋大学との包括協定推進に関する覚書」「学校法人東洋大学と独立行政法人都市再生機構との連携協力に関する包括協定」締結



2021年4月

ライフデザイン学部等を赤羽台キャンパスへ移転

2021年に朝霞キャンパスから移転するライフデザイン学部・ライフデザイン学研究所。現在建設中の地下1階地上9階建ての新校舎は、新国立競技場などを手掛ける隈研吾建築都市設計事務所が建築設計(代表)を担当しています。各種実験・制作工房や介護・調理等実習室を設置し、より実践的な教育・研究を推進します。

Faculty and Graduate School of Human Life Design to Be Relocated to the Akabanedai Campus in April 2021

The Faculty and Graduate School of Human Life Design will be relocated from the Asaka Campus in 2021. The new building of the faculty and graduate school that's under construction, with nine stories above ground and one below, is designed by Kengo Kuma and Associates, which also designed the New National Stadium and other iconic buildings. Housing various laboratories, studios, and rooms for practicums in nursing care, cooking, etc., the new building will help immensely in promoting further practical education and research.



2023年4月

新たな2学部4学科を開設予定 福祉・スポーツ科学の一大拠点に

2023年には、赤羽台キャンパスに新たな2学部4学科の開設を構想中。ソフト、ハードの両面から「福祉」「スポーツ科学」と向き合う一大拠点として、少子高齢化や健康問題といった社会課題の解決に努めています。

A Campus that will Serve as a Hub for Welfare and Sports Science through the Establishment of Two Faculties and Four Departments Planned for April 2023

The University is drawing up plans to establish two faculties and four departments at the Akabanedai Campus in 2023. The campus will serve as an important hub for the pursuit of welfare and sports science, to help address health problems and social issues, including the aging population and low birthrate.

2021年		2023年(開設に向け設置構想中)		
社会学部(白山)	社会福祉学科(第1部)	社会福祉学科	入学定員 216名(予定)	
ライフデザイン学部(赤羽台)	生活支援学科 生活支援学専攻	福祉社会デザイン学部 ^{*1} (赤羽台)	子ども支援学科	入学定員 100名(予定)
	生活支援学科 子ども支援学専攻		人間環境デザイン学科	入学定員 160名(予定)
	人間環境デザイン学科	健康スポーツ科学部 ^{*2} (赤羽台)	健康スポーツ科学科	入学定員 230名(予定)
	健康スポーツ学科			

©2019年6月現在設置構想中。学部・学科の名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

*1 開設にともない社会学部 第1部 社会福祉学科とライフデザイン学部 生活支援学科(生活支援学専攻・子ども支援学専攻)・人間環境デザイン学科は2023年度に募集を停止します。
2022年度までに入学した社会学部 第1部 社会福祉学科の在学生の修学キャンパスは2023年度より赤羽台キャンパスとなります。

*2 開設にともないライフデザイン学部 健康スポーツ学科は2023年度に募集を停止します。

教育

EDUCATION



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.

自己の哲学を磨き、 物事の本質を理解する人材の育成

グローバル化の進展によって多様な価値観が混在し、急速に変化していく現代社会。時代や環境の変化に流されることなく物事の本質を捉え、未来を切り拓く力を持った人材を育成します。

Developing Human Resources Who Can Cultivate Their Own Philosophy and Understand the Essence of Things

Progress in globalization has diversified our contemporary society in terms of values, and put it in rapid flux. Toyo University will foster human resources who have the ability to grasp the essence of things and open up a brighter future, rather than those who are passively affected by social trends and situational changes.



教育の質向上に向けて 「東洋大学優秀教育活動賞」

東洋大学は2017年度に「優秀教育活動賞」を創設しました。これは、本学の優れた授業や教育プログラムを表彰し、その取り組みを全学で共有することで、教育の質を向上させることを目的としています。2018年8月には、2017年度の教育活動に対し、11件27名の教員へ表彰を行いました。

Toward a Higher Quality of Education: The Toyo University Award for Excellent Educational Activities

In AY2017, Toyo University established an Award for Excellent Educational Activities. This award aims to commend excellent class activities and educational programs implemented at the University and share such initiatives university-wide, in order to enhance the quality of education. In August 2018, 27 faculty members were commended for 11 excellent educational activities they conducted in AY2017.



産業界と連携し 実践的キャリア教育を展開

東洋大学では産業界と連携したキャリア教育を展開しています。2018年8月にANAビジネスソリューション株式会社と航空業界への就職を目指す学生の支援強化を目的に教育連携協定を締結。社会で活躍するリーダーの経験と知見を学び、キャリア形成に役立てる「未来を拓くトップセミナー」などを開催しています。

Providing Practical Career Education in Collaboration with Industry

Toyo University collaborates with industry to provide students with practical career education. In August 2018, the University concluded an educational partnership agreement with ANA Business Solutions Co., Ltd., with the aim of enhancing support for students who wish to work in the airline industry. The University also holds Top Executive Seminars for Opening Up the Future to offer students opportunities to learn from the experience and knowledge of leaders in society and use the learning for their own career development.



社会人のためのOpen IoT 教育プログラムを開講

情報連携学部は、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)」の採択を受け、2018年度から社会人を対象に「Open IoT教育プログラム」を開講。東京大学、横浜国立大学、名古屋大学、名城大学やトロンフォーラムと連携し、IoT分野の実践的カリキュラムを提供しています。

Offering an Open IoT Educational Program for Business Human Resources

Faculty of Information Networking for Innovation and Design (INIAD) has been selected for enPiT, a project promoted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology to establish hubs for fostering IT engineers who can support growth fields. Under this project, INIAD has offered an Open IoT Educational Program targeting business human resources since AY2018. Toyo University thus provides a practical curriculum in the IoT field in collaboration with the University of Tokyo, Yokohama National University, Nagoya University, Meiji University, and the Tron Forum.



マレーシアのマハティール首相と 学生の対話集会を開催

2018年11月7日、マレーシア首相のマハティール・ビン・モハド氏を招いた対話集会を開催。国際学部や経済学研究科に在籍する学生からの質問に、自身の経験や見識を踏まえお話しいただきました。同氏は学校法人東洋大学の顧問(学術研究)とアジアPPP研究所の名誉アドバイザーを務めています。

Toyo University Students Engage in Dialogue with Tun Dr. Mahathir, Prime Minister of Malaysia

On November 7, 2018, Toyo University hosted a dialogue meeting with Tun Dr. Mahathir bin Mohamad, the Prime Minister of Malaysia, as a guest speaker. During the meeting, students at the Faculty of Global and Regional Studies and the Graduate School of Economics had a valuable opportunity to ask Dr. Mahathir various questions and receive helpful answers based on his vast experience and knowledge. Dr. Mahathir serves as Counselor (Academic Research) to the Toyo University Incorporated Educational Institution and as Honorary Advisor to the University's Asia Public/Private Partnership Institute.



すべての学生にとって 学びやすい教育環境の整備

学生一人ひとりの心身の健康面を総合的にサポートするため、白山キャンパスにおいて医務室・学生相談室・バリアフリー推進室を発展的に統合させた「ウェルネスセンター」を2018年10月に開設。また、「ハラスメント根絶宣言」のもと、より快適な教育環境の実現を目指し取り組んでいます。

Creating a Favorable Educational Environment for All Students

To provide students with comprehensive support in mental and physical health, in October 2018, Toyo University established a Wellness Center, which comprises the Health Center, Student Counselling Office, and Barrier-Free Promotion Office in a developmental way at the Hakusan Campus. In addition, we strive to create a more comfortable educational environment under its Declaration on the Eradication of Harassment.



スポーツ競技による人材育成を推進 世界を舞台に多くの選手が活躍

東洋大学は「TOYO SPORTS VISION」を掲げ、スポーツ競技を通じた人材育成を推進しています。2018年度には、硬式野球部からドラフト1位指名2名を含む4名がプロ野球入り、陸上競技部・池田向希選手が20km競歩の世界ランキングで1位となるなど、国内外で輝かしい実績を残しています。

Promoting Human Resource Development through Sports, and Producing Many World-class Athletes

Under the TOYO SPORTS VISION, Toyo University promotes human resource development through sports. In AY2018, four members of the Baseball Club, including two nominated in the first round of the Nippon Professional Baseball draft, determined to enter the professional baseball world, while race walker Koki Ikeda, a member of the Track and Field Club, ranked top in the world in Men's 20 km Race Walking. A number of such outstanding achievements have been accomplished by Toyo University athletes both in Japan and abroad.



学生の海外留学支援制度を充実させ 日本人学生派遣者数が第4位に

東洋大学ではグローバルに活躍する人材育成のため学生の海外留学を推奨しており、クォーター制度やGPA制度の導入、給付型奨学金の充実など、留学しやすい環境の整備に注力。その結果、2019年1月に日本学生支援機構が公表した調査結果で、日本人学生派遣者数第4位となりました。

国際交流データはP.17に掲載

※日本学生支援機構「平成29年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況(在籍大学等把握分)の合計」項目5「大学等が把握している日本人学生派遣数の多い大学」より

Toyo University's Efforts to Enhance Its Study Abroad Support System Places It Fourth in the Number of Japanese Students Sent Abroad

To foster human resources who can play leading roles globally, Toyo University encourages students to study abroad, implementing various initiatives to create a favorable environment for overseas studies, including adopting a quarter system and Grade Point Average (GPA) system, and improving full scholarships for students studying abroad. These efforts have resulted in the University being ranked fourth among universities in Japan with regard to the number of Japanese students sent abroad according to a Japan Student Services Organization survey, the results of which were announced in January 2019.



「大学」×「附属校」 連携した教育を展開

学校法人東洋大学は、「東洋大学附属姫路中学校・高等学校」「東洋大学附属牛久中学校・高等学校」「東洋大学京北中学高等学校」の3つの中学校・高等学校と「京北幼稚園」を設置しています。各設置校では、多彩な学問分野を擁する総合大学の東洋大学と連携した教育活動を展開しています。

Offering Education through Collaboration between Toyo University and Its Affiliated Schools

The Toyo University Incorporated Educational Institution also runs three high schools (Toyo University Himeji Junior and Senior High School, Toyo University Ushiku Junior and Senior High School, and Toyo University Keihoku Junior and Senior High School) and Keihoku Kindergarten. These schools conduct educational activities in collaboration with Toyo University, a general university that covers a wide range of academic disciplines.

研究

RESEARCH



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.

文理にわたる多様な研究を推進し、 さまざまな社会の課題解決に寄与

「学術・研究」機能を継続的に発展させ、各分野の基礎研究から、産学官連携による応用研究まで幅広く推進。有用な研究成果を社会へ還元していきます。

Promoting Diverse Research Endeavors in the Humanities and Sciences to Contribute to Solutions for Various Social Issues

Toyo University continuously enhances its academic research functions, and promotes research endeavors widely ranging from basic research in each field to applied research through collaboration between industry, government and academia. The University is ready to impart useful research achievements to society.

社会連携

COLLABORATION
WITH STAKEHOLDERS



詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.

教育・研究機関として社会と連携し、 開かれた大学へ

創立者の精神を継承した「社会に開かれた大学」として、教育・研究の知、学生の力、高度な施設などを活用し、「社会貢献」と「地域連携」を推進しています。

Collaborating with Stakeholders as an Educational and Research Institution to Become a University Open to Society

As a "university open to society" that cherishes the spirit of its founder, Toyo University promotes social contribution and collaboration with local communities, taking advantage of its strengths, including increased knowledge through educational and research activities, the power of its students, and its state-of-the-art facilities.



先端的かつ独創的な研究を推進 「東洋大学重点研究推進プログラム」を創設

地球レベルの課題解決に貢献し、大学のブランドとなり得る研究を支援するため、学内公募型の研究助成制度「重点研究推進プログラム」を創設。情報通信技術、医療・健康福祉、SDGs達成に貢献する研究など重点課題を設定し公募。2件が採択され、2019年4月から研究活動を開始しています。

Initiating a Toyo University Focal Research Promotion Program to Encourage Pioneering and Original Research

To encourage research that can contribute to solutions for global challenges and to the branding of the University as well, Toyo University has initiated a Focal Research Promotion Program, which is a system for awarding research grants to eligible applicants for an in-house open call. The program called for research projects in designated focal fields, such as ICT, healthcare and welfare, as well as the achievement of the SDGs. Two research projects were selected for the grants and started from April 2019.



EUの「エラスムス+」プログラムを ティミショアラ工科大学と共同実施

EUが組織し、欧州と各国の大学の研究者・学生が相互に学ぶ「エラスムス+」プログラム。バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターがルーマニアのティミショアラ工科大学と共同申請した教育プログラムが採択され、2018年には両大学の研究者・学生が参加する講義や実習を行い、共同研究が始まりました。

EU "Erasmus+ Programme" with Politehnica University of Timisoara, Romania

"Erasmus+" is the European Union programme for education, training, youth and sport. The "Erasmus+ Programme", which the Politehnica University of Timisoara, Romania, had applied for in collaboration with the Bio-Nano Electronics Research Centre, Toyo University, in 2017, was accepted by the European Commission, EU. The programmes were successfully carried out at the Bio-Nano Electronics Research Centre, Toyo University, and the Politehnica University of Timisoara. Lectures were given to undergraduate and graduate students and post-doctoral researchers and collaborative research has been carried out at both universities.



女性活躍を客観的に評価 「法人ランキング2018」を発表

東洋大学の人間価値研究会ダイバーシティ研究グループは、企業や団体における女性の活躍状況を客観的に評価する「女性活躍インデックス」を2017年に開発。2018年8月、厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」の登録1,078法人に対し同指標を用いて順位付けした「法人ランキング2018」を発表しました。

Announcement of the Company Rankings 2018, Which Objectively Assesses Companies in Terms of the Level of Women's Participation

In 2017, the Diversity Research Group, Toyo University Human Value Research Council, developed the Women's Empowerment Index, which objectively assesses the status of women's participation and success at companies and organizations. In August 2018, the group announced the Company Rankings 2018, which ranks 1,078 corporations registered in the database of the Ministry of Health, Labour and Welfare, using this index.



社会に有用な研究成果が 多方面で評価を獲得

東洋大学は、大学の使命である研究活動によって得られた成果を広く社会に発信、還元することに注力しています。2018年度においても特色ある研究プロジェクトの採択やさまざまな学会からの表彰を受けました。研究者だけでなく、学生による研究成果の発表も評価されています。

Socially Useful Research Achievements Highly Rated in Various Fields

Toyo University has devoted serious efforts to imparting to society the achievements of research activities as its mission as a university and making them available to a wide range of people. In AY2018 as well, unique research projects implemented at the University were selected for various programs or commended by various academic societies. Research results presented not only by established researchers but students as well have been highly rated.



国内10校目の大学大憲章への加盟 憲章に基づき海外の大学との連携強化

大学大憲章 (Magna Charta Universitatum) は、1988年に制定された憲章です。各国の高等教育機関が緊密に協力し、大学の自治、教育研究、学問の自由、相互交流に取り組むことを掲げており、2018年9月18日、東洋大学もこの憲章に加盟しました。

The Tenth Japanese University to Sign the Magna Charta Universitatum to Strengthen Partnerships with Universities Worldwide Based on the Charter

The Magna Charta Universitatum is a charter that was enacted in 1988 declaring that signatory higher educational institutions worldwide will cooperate closely for the sake of institutional autonomy, education and research, academic freedom, and mutual exchange. On September 18, 2018, Toyo University joined the Magna Charta Universitatum signatories.



東京2020大会に向けた連携事業を展開 研究成果で学術的な貢献を目指す

東京2020大会に向け、研究成果による貢献を目指す「オリンピック・パラリンピック特別プロジェクト研究助成制度」の創設や、東京2020公認プログラム「Next Athlete Forum 2018～親子で学ぶ1日教室～」の開催など、東洋大学では研究プロジェクトや競技種目の体験会、各種講座等を実施しています。

Implementing a Collaboration Project in Preparation for the Tokyo 2020 Games, Aiming to Make Academic Contributions through Research Achievements

In preparation for the Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020, Toyo University implements research projects, holds events where participants can experience sports played at the Games, and offers various educational programs. For example, the University established a Special Research Project Grant Program for the Olympic and Paralympic Games with the aim of contributing to the Games through research achievements, and also held the Next Athlete Forum 2018: One-day Family Class, an official Tokyo 2020 program.



開かれた学術拠点として 地域社会との連携体制を強化

赤羽台キャンパスにおけるライフデザイン学部等の移転(2021年4月予定)や、福祉社会デザイン学部・健康スポーツ科学部の設置(2023年4月開設に向け構想中)を見据えて、東京都北区および独立行政法人都市再生機構と覚書協定を締結し、連携体制を強化しました。

Strengthening the System for Collaboration with Local Communities as an Academic Hub Open to Society

Toyo University will relocate the Faculty and Graduate School of Human Life Design to the Akabane-dai Campus in April 2021, and is drawing up plans to establish the Faculty of Design for Welfare Society and the Faculty of Health and Sports Science at the same campus in April 2023. In preparation for these moves, the Toyo University Incorporated Educational Institution signed a memorandum with Kita City, Tokyo, where the campus is located, as well as an agreement with the Urban Renaissance Agency, to strengthen the system for collaborating with local communities.



被災地復興に臨む学生を支援 「ふるさとボランティア活動助成事業」

「平成30年7月豪雨」など相次ぐ大規模災害の発生により、2018年7月12日から被災地支援募金活動を実施しました。現地に赴くボランティアへの機運の高まりから、「ふるさとボランティア活動助成事業」を創設。出身県が被災した学生の活動経費に対する助成事業をスタートしました。

"Homecoming-revive-volunteering Grant Program" Supporting Students' Revive Volunteering

As large-scale natural disasters have successively occurred, such as "2018 Japan Flood", Toyo University held a fund raising campaign from July 12, 2018 to revive the disaster affected areas. Toyo University also organized "Homecoming-revive-volunteering Grant Program" to respond to the increase in students' motivation involving as volunteers in affected areas. The new grant program covers the costs for the revive volunteer activities by the student whose native prefecture is affected.

在籍学生数 (2019年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。)

学部 (第1部)

Table with columns: 学部, 男性, 女性, 合計. Lists various faculties and their student counts.

※1 2017年4月、国際地域学部を国際学部および国際観光学部に改組

学部 (第2部)

Table with columns: 学部, 男性, 女性, 合計. Lists various faculties and their student counts.

通信教育課程

Table with columns: 学部, 男性, 女性, 合計. Lists faculties and their student counts for distance education.

大学院

Table with columns: 研究科, 男性, 女性, 合計. Lists research institutes and their student counts.

※2 2014年4月、工学研究科を理工学研究科に改組
※3 2018年4月、国際地域学研究所を国際学研究所および国際観光学研究科に改組
※4 2018年4月、福祉社会デザイン研究科を社会福祉学研究所、ライフデザイン学研究所および社会学研究科福祉社会システム専攻に改組

附属学校等

Table with columns: 学校名, 男性, 女性, 合計. Lists affiliated schools and their student counts.

キャンパス別学生数 (学部第1部・第2部、大学院)

Table with columns: キャンパス, 男性, 女性, 合計. Lists campuses and their student counts.

専任教員数 (2019年5月1日現在)

Table with columns: 学部, 教授, 准教授, 講師, 助教, 小計, 助手, 合計. Lists faculties and their faculty counts.

Table with columns: 学部, 教授, 准教授, 講師, 助教, 小計, 助手, 合計. Lists faculties and their faculty counts.

附属学校等教員数

Table with columns: 学校名, 教諭, 助教諭, 講師, 助手, 合計. Lists affiliated schools and their faculty counts.

事務職員数 (2019年5月1日現在)

大学

Table with columns: 身分, 職員数. Lists university staff positions and counts.

附属学校等

Table with columns: 学校名, 参事, 副参事, 主事, 主事補, 書記, 事務職員, 常勤嘱託, 特別嘱託, 職員合計. Lists affiliated schools and their staff counts.

センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試 (第1部)

Table with columns: 学部, 学科(専攻), 志願者数, 合格者数. Lists faculties, departments, and exam statistics.

センター利用入試・一般入試 (第2部・イブニングコース)

Table with columns: 学部, 学科(専攻), 志願者数, 合格者数. Lists faculties, departments, and exam statistics.

推薦入試 (AO型推薦/自己推薦/学校推薦/「独立自活」支援推薦)

Table with columns: 学部, 学科(専攻), 志願者数, 合格者数. Lists faculties, departments, and exam statistics.

大学院 博士前期・修士課程

Table with columns: 研究科, 志願者数 (秋入学, 4月入学), 合格者数 (秋入学, 4月入学). Lists graduate programs and exam statistics.

大学院 博士後期課程

Table with columns: 研究科, 志願者数 (秋入学, 4月入学), 合格者数 (秋入学, 4月入学). Lists graduate programs and exam statistics.

附属学校等

Table with columns: 学校名, 志願者数, 合格者数. Lists affiliated schools and exam statistics.

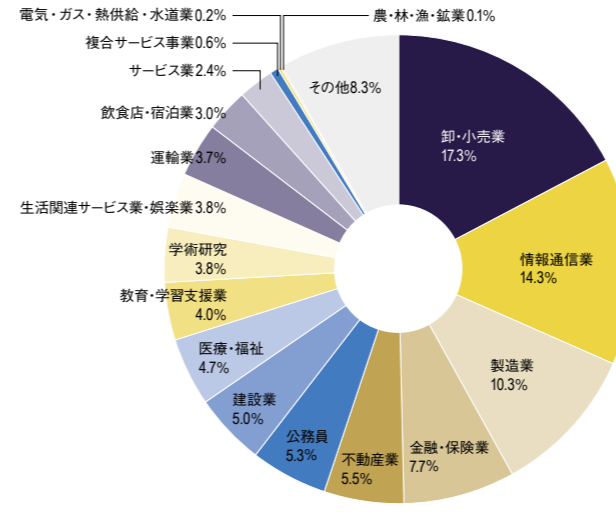
学部別進路状況 (学部第1部)

学部	性別	(単位: %)			
		就職者率	進学率	進路決定率	就職率
文学部	男	76.5	6.2	82.7	96.6
	女	86.4	2.2	88.6	98.1
	計	82.1	3.9	86.1	97.5
経済学部	男	90.1	1.2	91.3	98.7
	女	91.1	2.1	93.2	98.9
	計	90.4	1.5	91.9	98.7
経営学部	男	89.3	2.0	91.2	98.7
	女	92.6	2.0	94.6	97.9
	計	90.7	2.0	92.6	98.3
法学部	男	92.2	1.7	93.9	99.4
	女	89.3	1.3	90.6	100.0
	計	91.3	1.5	92.9	99.6
社会学部	男	86.0	1.3	87.3	97.7
	女	92.5	1.5	94.0	98.9
	計	90.0	1.4	91.4	98.4
国際地域学部	男	90.8	2.5	93.3	97.3
	女	90.8	2.7	93.6	98.9
	計	90.8	2.7	93.5	98.4

就職者率 = 就職者数 ÷ 卒業生数 × 100
 進学率 = 進学者数 ÷ 卒業生数 × 100
 進路決定率 = (就職者数 + 進学者数) ÷ 卒業生数 × 100
 就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 (就職者数 + 卒業時点で就職活動中の者) × 100
 ※学部名については卒業生在籍時の名称を適用

学部	性別	(単位: %)			
		就職者率	進学率	進路決定率	就職率
ライフデザイン学部	男	88.3	1.7	90.0	99.0
	女	92.3	1.5	93.8	97.8
	計	90.7	1.6	92.3	98.3
理工学部	男	83.7	10.2	93.9	99.2
	女	85.0	12.6	97.6	100.0
	計	83.9	10.6	94.5	99.4
総合情報学部	男	88.4	3.1	91.5	97.1
	女	88.9	3.7	92.6	96.0
	計	88.5	3.2	91.7	96.9
生命科学部	男	78.0	16.5	94.5	99.0
	女	84.3	14.6	98.9	100.0
	計	80.6	15.7	96.3	99.4
食環境科学部	男	93.3	5.6	98.9	100.0
	女	96.2	3.1	99.2	100.0
	計	95.0	4.1	99.1	100.0
合計	男	86.4	4.6	91.0	98.4
	女	90.3	2.9	93.2	98.6
	計	88.1	3.8	92.0	98.5

業種別就職状況 (学部第1部)



Uターンエリア別就職状況 (学部第1部・第2部合計)

出身都道府県	Uターン就職者数	就職者数	出身都道府県	Uターン就職者数	就職者数	出身都道府県	Uターン就職者数	就職者数
北海道	8	65	石川	9	19	岡山	1	3
青森	6	22	福井	0	9	広島	1	25
岩手	3	27	山梨	3	19	山口	1	10
宮城	6	48	長野	35	134	徳島	0	1
秋田	5	24	岐阜	2	10	香川	0	13
山形	7	38	静岡	40	150	愛媛	0	5
福島	13	74	愛知	4	37	高知	1	7
茨城	77	371	三重	0	10	福岡	4	31
栃木	36	178	滋賀	0	5	佐賀	1	2
群馬	46	165	京都	0	11	長崎	2	11
埼玉	233	1,332	大阪	0	18	熊本	1	10
千葉	143	857	兵庫	6	39	大分	0	3
東京	1,060	1,284	奈良	1	5	宮崎	1	8
神奈川	75	431	和歌山	0	1	鹿児島	1	6
新潟	29	147	鳥取	2	6	沖縄	3	13
富山	9	24	島根	0	4	外国人留学生	3	42
合計						合計	1,878	5,754

■就職者数：出身地別の就職した卒業生数
 ■Uターン就職者数：就職者のうち、出身地に本社がある企業へ就職した卒業生数
 ※本社所在地と勤務地は異なる場合もあります。

主な就職先

- 【第1部文学部】**
 東京都教育委員会
 埼玉県教育委員会
 千葉県教育委員会
 神奈川県教育委員会
 警視庁
 ANAエアポートサービス(株)
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 日本郵便(株)
 茨城県教育委員会
 さいたま市教育委員会
- 【第1部社会学部】**
 (株)ベネッセスタイルケア
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 スターツケアサービス(株)
 (株)みずほフィナンシャルグループ
 タカラスタンダード(株)
 (株)JALスカイ
 ANAエアポートサービス(株)
 さいたま市役所
 ヤフー(株)
 共同印刷(株)
- 【第1部経済学部】**
 大和ハウス工業(株)
 (株)マイナビ
 (株)千葉銀行
 あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 警視庁
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 (株)SUBARU
 SMBC日興証券(株)
 みずほ証券(株)
 大田区役所
- 【第1部経営学部】**
 (株)京葉銀行
 日本郵便(株)
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 (株)千葉銀行
 あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 (株)資生堂
 (株)三井住友銀行
 (株)りそな銀行
 東京国税局
- 【第1部法学部】**
 警視庁
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 千葉県警察本部
 (株)京葉銀行
 埼玉県警察本部
 (株)JALグランドサービス
 (株)帝国データバンク
 ANAエアポートサービス(株)
 川崎市役所
 東京消防庁
- 【第1部総合情報学部】**
 (株)NSD
 TDCソフト(株)
 (株)DTS
 (株)くるなび
 警視庁
 (株)ドワンゴ
 (株)ナビタイムジャパン
 コニカミノルタ(株)
 シャープ(株)
 福島テレビ(株)
- 【第1部生命科学部】**
 さいたま市教育委員会
 (株)伊藤園
 群馬県教育委員会
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 JTBグループ
 全日本空輸(株)
 (株)コングレ
 (株)星野リゾート・マネジメント
 (株)近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
 (株)東急ホテルズ
- 【第1部食環境科学部】**
 (株)LEOC
 フジパングループ本社(株)
 山崎製パン(株)
 (株)ギャバン
 IMS(イムス)グループ
 館林市役所
 コナミスポーツ(株)
 (株)ディーエイチシー
 (株)明治
 ホクト(株)
- 【第1部国際地域学部】**
 日本航空(株)
 ANAエアポートサービス(株)
 (株)JALスカイ
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 JTBグループ
 全日本空輸(株)
 (株)コングレ
 (株)星野リゾート・マネジメント
 (株)近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
 (株)東急ホテルズ
- 【第1部ライフデザイン学部】**
 IMS(イムス)グループ
 東京海上日動ベターライフサービス(株)
 埼玉県教育委員会
 北区役所(保育士含む)
 (株)良品計画
 横浜市役所(保育士含む)
 住友林業ホームテック(株)
 (株)ポーネランド(ポーネランドグループ)
 (株)モンベル
 アシックスジャパン(株)
- 【第1部理工学部】**
 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 埼玉県庁(土木職含む)
 (株)関電工
 花王(株)
 テルモ(株)
 清水建設(株)
 ロート製薬(株)
 KDDI(株)
 トヨタ自動車(株)
- 【第1部全学部】**
 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
 警視庁
 埼玉県教育委員会
 東京都教育委員会
 ANAエアポートサービス(株)
 日本郵便(株)
 (株)ベネッセスタイルケア
 千葉県教育委員会
 大和ハウス工業(株)
 (株)京葉銀行
- 【第2部全学部】**
 日本郵便(株)
 (株)ベネッセスタイルケア
 イオンリテール(株)
 (株)マイナビ
 リコージャパン(株)
 東京セキスイハイム(株)
 (株)USEN-NEXT HOLDINGS
 警視庁
 東京都教育委員会
 埼玉県教育委員会

教育職員免許状申請状況 (2019年3月1日現在)

学部	申請者数	小1種	中1種						高1種						特支1種	教科計		
			国語		社会		英語		国語		商業		英語				情報	
			国語	社会	英語	英語	国語	書道	地歴	公民	商業	英語	福祉	情報			情報	
第1部	文学部	206	40	44	95	20	46	6	90	81	0	21	0	0	46	489		
	経済学部	9	0	0	5	0	0	0	5	8	1	0	0	1	0	20		
	経営学部	2	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	5		
	法学部	7	0	0	6	0	0	0	7	5	0	0	0	0	0	18		
	社会学部	8	0	0	8	0	0	0	8	7	0	0	0	0	0	23		
	国際地域学部	9	0	0	8	0	0	0	8	9	0	0	0	0	0	25		
	科目等履修生	5	0	0	3	2	0	0	3	3	0	2	0	0	0	13		
第1部合計	246	40	44	126	22	46	6	122	115	2	23	0	1	46	593			
第2部	文学部	21	0	7	11	0	10	0	7	8	0	0	0	0	0	43		
	経済学部	3	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4		
	経営学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	法学部	2	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	5		
	社会学部	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4		
	科目等履修生	6	0	0	4	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	11		
	第2部合計	34	0	7	20	0	10	0	14	16	0	0	0	0	0	67		
白山キャンパス合計	280	40	51	146	22	56	6	136	131	2	23	0	1	46	660			

学部	申請者数	幼1種	養1種	中1種			高1種			教科計	
				保健	保健体育	英語	工業	工芸	福祉		
ライフデザイン学部	151	88	15	4	38	5	43	2	0	2	197

学部	申請者数	中1種		教科計
		理科	理科	
生命科学部	36	36	36	72
食環境科学部	5	4	5	9
板倉キャンパス合計	41	40	41	81

学部	申請者数	中1種		高1種			教科計	
		数学	理科	数学	理科	情報		工業
理工学部	45	11	31	11	32	0	2	87
総合情報学部	0	0	0	0	0	0	0	0
川越キャンパス合計	45	11	31	11	32	0	2	87

専修免許状

研究科	申請者数	小専修	中専修						高専修						特支専修	教科計		
			国語	社会	英語	数学	理科	宗教	国語	地歴	公民	英語	数学	理科			宗教	工業
文学研究科	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	5
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学研究科	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
生命科学研究科	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	6
専修免許状合計	7	1	0	1	0	0	5	0	0	1	1	0	0	5	0	0	1	15

教育職員免許状
申請者数合計
524名

留学生数・留学者数

派遣留学者数(中途帰国者を含む)

プログラム名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
交換留学(派遣)	59	56	69	74	152
認定留学	4	5	10	11	25
協定校語学留学	40	45	52	103	180
語学セミナー(※)	147	163	123	116	156
合計	250	269	254	304	513

※国際教育センター主催のプログラムのみを対象

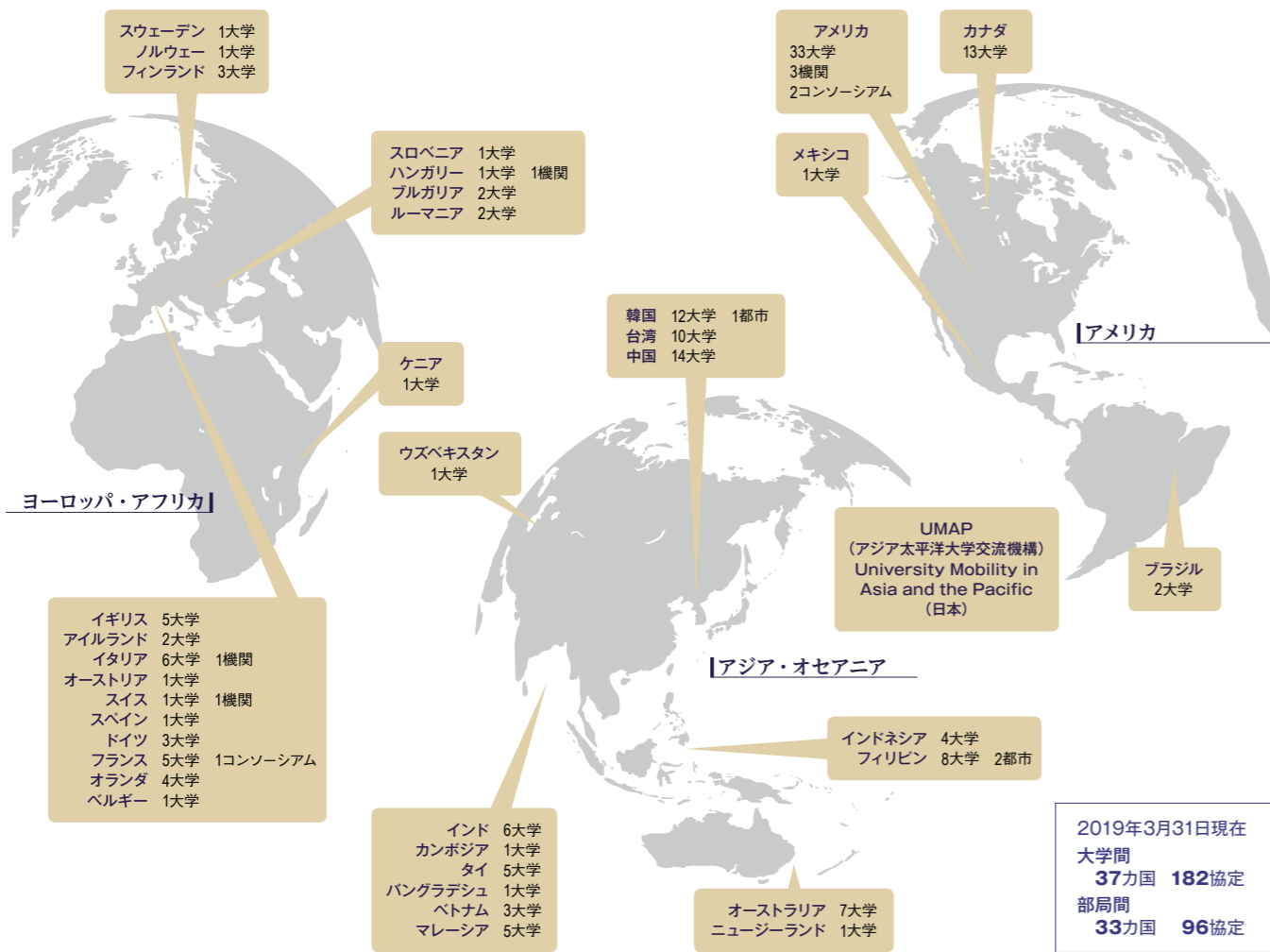
受入留学者数

プログラム名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
交換留学(受入)	52	59	89	85	132

国費留学生受入数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
大学院	22	20	22	25	22

大学間海外協定先等一覧 (2019年3月31日現在)



出身国別留学者数 (2018年5月1日現在)

掲載データは本書発行時期における最新の集計結果を掲載しております。発行後に更新される情報は本学Webサイトでご確認ください。

アメリカ 学部(第1部)合計2 大学院合計2 総合計4	アルゼンチン 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	イタリア 学部(第1部)合計3 大学院合計1 総合計4	インド 学部(第1部)合計1 大学院合計5 総合計6	インドネシア 学部(第1部)合計20 大学院合計1 総合計21	ウズベキスタン 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計3	韓国 学部(第1部)合計55 大学院合計6 総合計61
ガンビア 大学院合計1 総合計1	カンボジア 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	サウジアラビア 学部(第1部)合計3 大学院合計1 総合計4	シンガポール 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計3	スイス 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	スーダン 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	スリランカ 学部(第1部)合計6 大学院合計1 総合計7
セイシェル 大学院合計1 総合計1	セネガル 大学院合計3 総合計3	ソロモン 大学院合計2 総合計2	タイ 学部(第1部)合計13 大学院合計3 総合計16	台湾 学部(第1部)合計18 大学院合計2 総合計20	中国 学部(第1部)合計778 大学院合計160 総合計938	チェルノブイリ 大学院合計2 総合計2
トルコ 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計3	ネパール 学部(第1部)合計5 大学院合計3 総合計8	バプアニューギニア 大学院合計1 総合計1	バングラデシュ 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	フィジー 大学院合計3 総合計3	フィリピン 学部(第1部)合計3 大学院合計1 総合計4	フィンランド 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2
ブラジル 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	フランス 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計3	ブータン 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	ブルガリア 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計3	ベトナム 学部(第1部)合計77 大学院合計3 総合計80	ペルー 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	マレーシア 学部(第1部)合計32 大学院合計1 総合計33
南アフリカ 大学院合計5 総合計5	ミャンマー 学部(第1部)合計13 大学院合計1 総合計14	メキシコ 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	モザンビーク 大学院合計2 総合計2	モロッコ 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	モンゴル 学部(第1部)合計5 大学院合計1 総合計6	ロシア 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2

学部(第1部)合計1,056名 大学院合計207名 総計1,263名

研究データ

科学研究費助成事業の保有件数
および保有金額

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
保有件数	165	187	217	220
保有金額 (単位:千円)	272,000	320,281	329,024	336,744

科学研究費新規応募採択状況(第1回交付内定時)

2015年度			2016年度			2017年度			2018年度		
申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率
179	41	22.9%	229	67	29.3%	219	58	26.5%	214	47	22.0%

外部資金による研究件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
科学研究費助成事業	162	165	187	217	220
私立大学戦略的研究基盤 形成支援事業	10	9	6	5	3
共同研究・受託研究	43	51	59	74	77
奨学寄附金	42	29	46	38	40
合計	257	254	298	334	340

外部資金による研究費

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
科学研究費助成事業	257,390	272,000	320,281	329,024	336,744
私立大学戦略的研究基盤 形成支援事業	141,813	110,975	41,295	32,303	23,587
私立大学研究 ブランディング事業				43,000	44,000
共同研究・受託研究	94,843	132,090	163,801	137,338	151,196
奨学寄附金	31,286	30,239	41,605	29,218	56,285
合計	525,332	545,304	566,982	570,883	611,812

学位授与状況(2018年4月~2019年3月授与分)

	9月修了		3月修了		博士(論文)	合計
	修士	博士(課程)	修士	博士(課程)		
文学研究科	0	0	27	1	1	29
社会学研究科	0	0	17	0	0	17
法学研究科	-	-	4	0	0	4
経営学研究科	1	0	33	1	0	35
経済学研究科	5	0	28	0	0	33
国際地域学研究科	15	1	11	1	0	28
福祉社会デザイン研究科	1	1	20	6	0	28
理工学研究科	0	1	50	0	0	51
工学研究科	-	0	-	0	0	0
学際・融合科学研究科	0	0	4	2	0	6
生命科学研究科	0	0	31	0	0	31
総合情報科学研究科	1	-	11	-	-	12
食環境科学研究所	0	-	10	-	-	10
情報連携科学研究科	0	-	3	-	-	3
合計	23	3	249	11	1	287

発明届出数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
発明届出数	14	15	12	20	23

特許出願件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
単独出願	9	13	8	10	13
共同出願	1	3	3	5	7
合計	10	16	11	15	20

特許等実施許諾

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
件数	4	2	3	9	5
金額(単位:千円)	924	132	472	1,918	1,780

図書館データ

図書所蔵数(2019年3月31日現在)

	和書	洋書	合計
白山図書館	753,005	253,869	1,006,874
川越図書館	145,022	59,738	204,760
朝霞図書館	248,381	23,103	271,484
板倉図書館	67,825	10,663	78,488

雑誌所蔵タイトル数(2019年3月31日現在)

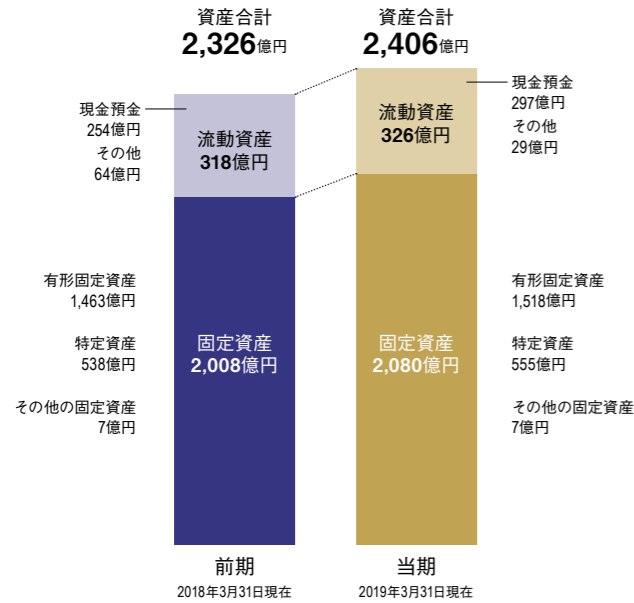
	和雑誌	洋雑誌	合計
白山図書館	8,211	3,387	11,598
川越図書館	1,208	1,451	2,659
朝霞図書館	1,634	469	2,103
板倉図書館	330	185	515

入館者数(2018年度開館日)

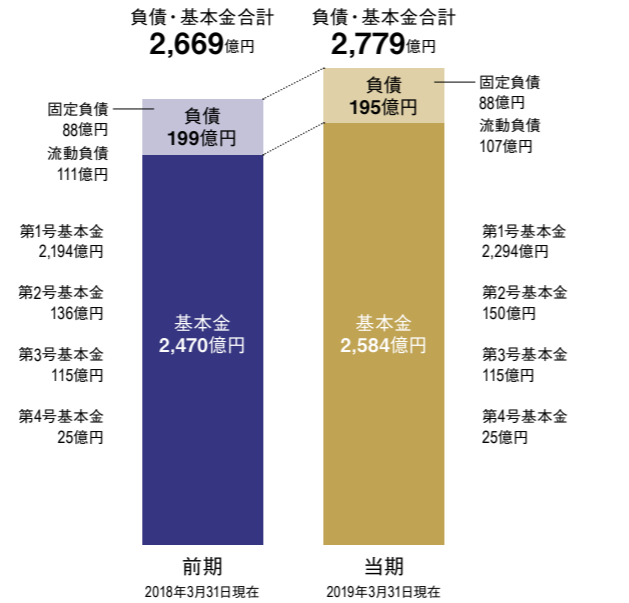
	開館日数	延べ入館者数
白山図書館	300	857,970
川越図書館	273	183,335
朝霞図書館	275	76,907
板倉図書館	277	119,326

2018年度 決算 貸借対照表および事業活動収支計算書のレビューをWebでご覧いただけます。
<https://www.toyo.ac.jp/toyo2019/economy/>

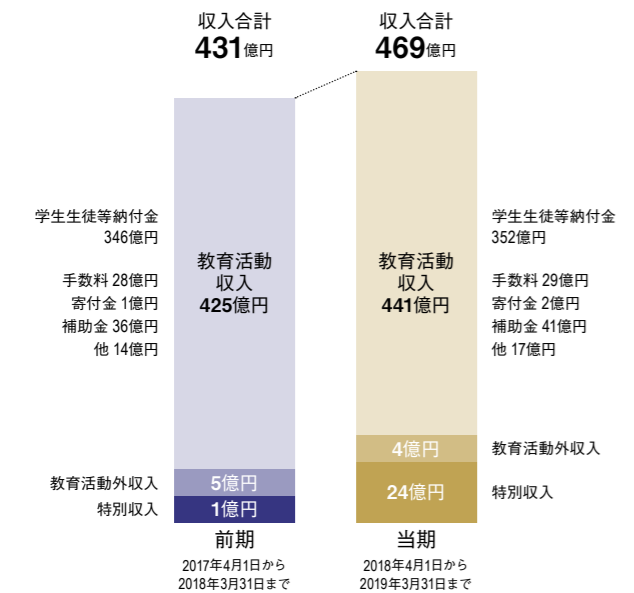
資産の状況



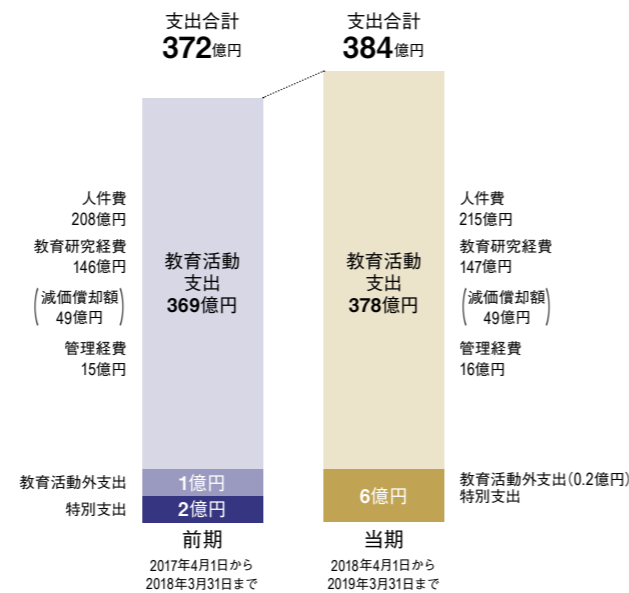
負債・基本金の状況



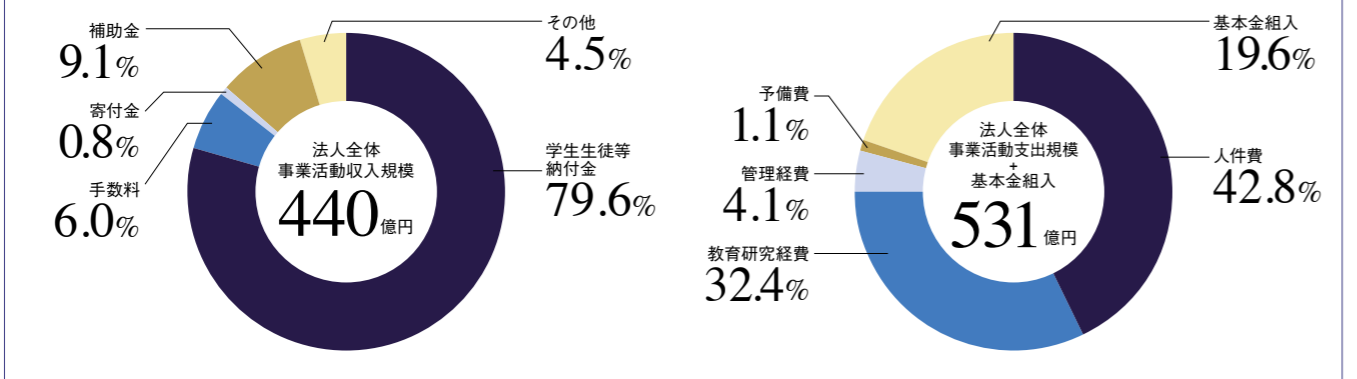
事業活動収入の状況



事業活動支出の状況



2019年度 予算規模



資金収支計算書

一事業年度における現金預金の収入および支出の一覧です。

□収入の部

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学生生徒等納付金収入	31,264	32,274	33,311	34,641	35,173
手数料収入	2,188	2,286	2,610	2,836	2,920
寄付金収入	139	220	121	121	187
補助金収入	3,765	3,765	3,622	3,570	4,198
資産売却収入	2,800	406	0	0	32,649
付随事業・収益事業収入	466	505	661	674	787
受取利息・配当金収入	414	415	391	505	308
雑収入	769	735	796	674	966
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,170	8,243	8,864	8,491	8,170
その他の収入	27,995	4,505	8,788	1,849	11,324
資金収入調整勘定	△ 8,785	△ 8,978	△ 9,044	△ 9,485	△ 10,399
前年度繰越支払資金	21,720	23,773	26,553	23,705	25,381
収入の部合計	90,905	68,149	76,673	67,580	111,664

□支出の部

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人件費支出	19,093	19,496	20,053	20,755	21,554
教育研究経費支出	8,503	8,388	9,051	9,692	9,868
管理経費支出	1,417	1,533	1,682	1,590	1,528
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	10,197	4,037	7,803	1,510	9,553
設備関係支出	1,994	899	2,282	1,124	1,152
資産運用支出	25,499	6,138	10,767	7,458	37,366
その他の支出	2,032	2,315	2,653	2,166	2,850
資金支出調整勘定	△ 1,603	△ 1,210	△ 1,323	△ 2,096	△ 1,882
翌年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675
支出の部合計	90,905	68,149	76,673	67,580	111,664

活動区分資金収支計算書

活動区分ごとの現金預金の収支の明細です。

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	38,362	39,598	41,056	42,473	44,087
教育活動資金支出計	29,012	29,384	30,761	31,921	32,930
差引	9,350	10,214	10,295	10,552	11,157
調整勘定等	451	364	482	4	△ 1,578
教育活動資金収支差額	9,801	10,578	10,776	10,556	9,579
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	19,030	3,081	6,200	33	9,443
施設整備等活動資金支出計	29,454	10,583	15,227	9,738	21,805
差引	△ 10,424	△ 7,502	△ 9,028	△ 9,705	△ 12,362
調整勘定等	272	△ 459	206	546	△ 239
施設整備等活動資金収支差額	△ 10,152	△ 7,962	△ 8,822	△ 9,159	△ 12,601
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 351	2,617	1,954	1,397	△ 3,022
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	11,285	1,429	2,237	1,562	34,333
その他の活動資金支出計	8,881	1,267	7,051	1,288	27,023
差引	2,404	161	△ 4,814	274	7,310
調整勘定等	0	2	11	5	6
その他の活動資金収支差額	2,404	163	△ 4,802	279	7,316
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	2,053	2,780	△ 2,848	1,676	4,294
前年度繰越支払資金	21,720	23,773	26,553	23,705	25,381
翌年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675

事業活動収支計算書

経営状況や財政状態を正しく理解でき、「教育の持続性」に対する判断に役立ちます。

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	31,264	32,274	33,311	34,641	35,173
手数料	2,188	2,286	2,610	2,836	2,920
寄付金	139	102	132	124	196
経常費等補助金	3,536	3,705	3,605	3,547	4,152
付随事業収入	466	505	661	674	787
資産売却差額	0	0	0	0	0
雑収入	769	744	765	665	876
教育活動収入計	38,362	39,616	41,084	42,487	44,104
事業活動支出の部					
人件費	19,058	19,524	20,120	20,781	21,540
教育研究経費	12,940	12,992	13,641	14,561	14,689
管理経費	1,528	1,605	1,722	1,537	1,562
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	33,526	34,121	35,483	36,879	37,791
教育活動収支差額	4,836	5,495	5,601	5,608	6,313
教育活動外収入の部					
受取利息・配当金	414	415	391	505	308
その他の教育活動外収入	0	0	40	9	89
教育活動外収入計	414	415	430	514	397
事業活動外支出の部					
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	31	24	116	16
教育活動外支出計	0	31	24	116	16
教育活動外収支差額	414	384	406	398	381
経常収支差額	5,250	5,878	6,007	6,006	6,694
特別収入の部					
資産売却差額	623	271	0	0	2,269
その他の特別収入	284	230	106	68	90
特別収入計	907	501	106	68	2,359
特別支出の部					
資産処分差額	1,622	430	271	207	594
その他の特別支出	0	1	1	1	9
特別支出計	1,622	432	272	208	603
特別収支差額	△ 715	69	△ 166	△ 140	1,756
基本金組入前当年度収支差額	4,535	5,947	5,841	5,866	8,450
基本金組入額合計	△ 5,610	△ 5,130	△ 5,924	△ 4,476	△ 11,468
当年度収支差額	△ 1,075	817	△ 83	1,390	△ 3,018
前年度繰越収支差額	△ 38,109	△ 36,647	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266
基本金取崩額	2,537	250	0	6	0
翌年度繰越収支差額	△ 36,647	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284
(参考)					
事業活動収入計	39,683	40,532	41,620	43,069	46,860
事業活動支出計	35,148	34,584	35,779	37,203	38,410

貸借対照表

「学校法人の体力（財務状況・安全性）」を把握することができます。

(単位：百万円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定資産	188,357	191,474	196,050	200,752	208,037
流動資産	25,519	28,107	30,290	31,862	32,620
資産の部合計	213,876	219,580	226,340	232,614	240,657
固定負債	8,693	8,716	8,783	8,809	8,762
流動負債	10,152	9,887	10,739	11,120	10,760
負債の部合計	18,846	18,603	19,521	19,929	19,522
基本金	231,677	236,557	242,481	246,951	258,419
繰越収支差額	△ 36,647	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284
純資産の部合計	195,030	200,978	206,818	212,685	221,135
負債および純資産の部合計	213,876	219,580	226,340	232,614	240,657

財務指標

経営成績や財政状態を数値化することで、学校法人としての「安全性」や「成長性」を読み取ることができます。

主な財務比率比較

(単位：%)

比率名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
事業活動収支差額比率 [基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入]	11.4	14.7	14.0	13.6	18.0
基本金組入後収支比率 [事業活動支出 / (事業活動収入 - 基本金組入額)]	103.2	97.7	100.2	96.4	108.5
学生生徒等納付金比率 [学生生徒等納付金 / 経常収入]	80.6	80.6	80.2	80.6	79.0
人件費比率 [人件費 / 経常収入]	49.1	48.8	48.5	48.3	48.4
教育研究経費比率 [教育研究経費 / 経常収入]	33.4	32.5	32.9	33.9	33.0
管理経費比率 [管理経費 / 経常収入]	3.9	4.0	4.1	3.6	3.5
流動比率 [流動資産 / 流動負債]	251.4	284.3	282.1	286.5	303.2
負債比率 [総負債 / 純資産]	9.7	9.3	9.4	9.4	8.8
純資産構成比率 [純資産 / (総負債 + 純資産)]	91.2	91.5	91.4	91.4	91.9
基本金比率 [基本金 / 基本金要組入額]	99.8	99.9	99.9	99.7	99.8
教育活動資金収支差額比率 [教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計]	25.5	26.7	26.2	24.9	21.7

※「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

寄付金状況

寄付金の種類	2018年度	
	金額	摘要
特別寄附金	166,393千円	876件
奨学寄附金	56,285千円	45件
教育・研究協力資金	93,806千円	588件
教育・研究協力資金(施設)	7,710千円	46件
その他の特別寄附金	8,593千円	197件
古本募金	840千円	187件
その他	7,753千円	10件
一般寄附金	21,000千円	3件
現物寄附金	44,858千円	716件
合計	232,251千円	1,595件

補助金状況

(単位：千円)

補助金の種類	2018年度補助金額
私立大学等経常費補助金	2,558,820
一般補助	2,095,817
特別補助	463,003
成長力強化に貢献する質の高い教育	563
社会人の組織的な受入れ	21,067
大学等の国際交流の基盤整備	79,116
大学院等の機能の高度化	189,109
授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実	97,200
平成30年7月豪雨等からの復興支援	348
私立大学等改革総合支援事業	75,600
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	61,192
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPIT)事業費補助金	38,454
私立学校施設整備費補助金・私立大学等研究設備整備費等補助金	45,541
国庫からのその他の補助金	1,778
地方公共団体等からの補助金	1,490,262
私立学校経常費補助金	1,389,082
授業料軽減補助金・入学金軽減補助金	74,467
その他の補助金	26,713
学術研究振興資金	1,500
合計	4,197,547

キャンパス・施設

白山キャンパス Hakusan Campus



文学部 / 経済学部 / 経営学部 / 法学部 / 社会学部 / 国際学部 / 国際観光学部 / 文学研究科 / 社会学研究科 / 法学研究科 / 経営学研究科 / 経済学研究科 / 国際学研究科 / 国際観光学研究科 / 社会福祉学研究科
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 TEL. 03-3945-7224
5-28-20 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

朝霞キャンパス Asaka Campus



ライフデザイン学部 / ライフデザイン学研究科
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1 TEL. 048-468-6311
48-1 Oka, Asaka-shi, Saitama

板倉キャンパス Itakura Campus



生命科学部 / 食環境科学部 / 生命科学研究科 / 食環境科学研究科
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1 TEL. 0276-82-9111
1-1-1 Izumino, Itakura-machi, Oura-gun, Gunma

附属学校等

東洋大学附属 姫路中学校・高等学校

Toyo University Himeji Junior and Senior High School
〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
TEL. 079-266-2626
1699 Shosha, Himeji-shi, Hyogo

東洋大学附属 牛久中学校・高等学校

Toyo University Ushiku Junior and Senior High School
〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2
TEL. 029-872-0350
1360-2 Kashiwadacho, Ushiku-shi, Ibaraki

東洋大学 京北中学高等学校

Toyo University Keihoku Junior and Senior High School
〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5
TEL. 03-3816-6211
2-36-5 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

京北幼稚園 Keihoku Kindergarten

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5
TEL. 03-3941-7090
2-13-5 Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo

赤羽台キャンパス Akabane-dai Campus



情報連携学部 / 情報連携学研究科
〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11 TEL. 03-5924-2600
1-7-11 Akabane-dai, Kita-ku, Tokyo

川越キャンパス Kawagoe Campus



理工学部 / 総合情報学部 / 理工学研究科 / 学際・融合科学研究科 / 総合情報学研究科
〒350-8585 埼玉県川越市鯉井2100 TEL. 049-239-1300
2100 Kujirai, Kawagoe-shi, Saitama

大手町サテライト Otemachi Satellite

経済学研究科(公民連携専攻)
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F TEL. 03-3231-1021
1F New Otemachi Building, 2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo

総合スポーツセンター General Sports Center

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1 TEL. 03-6454-3340
92-1 Shimizu-cho, Itabashi-ku, Tokyo